### 1 単元 近代国家への歩み ~江戸時代を終わらせたのは何か~

### 2 指導の立場

### <子どもの実態から>

子どもは、「江戸幕府の成立と支配体制の確立」において、時代を大観的に捉え、特色を見出す経験をしている。そこでは、幕府・大名・朝廷・寺社といった複数の主体の関わりに着目し、近世社会が封建的秩序のもとで安定した要因について理解を深めてきた。このような子どもが、近代国家へ進む過程における江戸時代末期の転換点に着目し、分岐を担った存在を考察する活動に取り組めば、時代を比較・分析しながら、異なる視点や背景に気付くことで、時代の特色を多面的・多角的に捉え、社会の見方を拡げることができるだろう。

そこで、単元を構想するに当たっては、次のような教材を設定する。

#### <教材について>

本教材は、幕末から明治維新という大きな転換期を考察することを通して、近世から近代への移行の特色を捉えることができる教材となっている。ここでは、幕府・朝廷・諸藩・志士・庶民・外国勢力といった多様な主体の動きや、政治・経済・社会・文化の相互作用を多面的・多角的に整理しながら、歴史の転換点を解釈する力を育成することが大切である。そこで、「江戸時代を終わらせたのは何か」という課題に取り組み、時代の変化を自ら問い直し、解釈をまとめる活動を設定する。子どもは、資料や年表などを比較・分析し、江戸時代を終わらせた要因や主体について自らの考えを、根拠を明確にして説明しようとするだろう。

そのような学びを実現するために、指導にあたっては、次の点に留意する。

# <指導上の留意点>

- 単元の初めに、幕末の国内外の状況や幕府が直面していた課題について考察させる。そうすることで、幕府・朝廷・諸藩・志士・庶民・外国勢力といった多様な主体の動きを整理し、 江戸時代が終わりを迎える背景を多面的に理解できるようにする。
- 単元を通して、学習の過程を振り返る活動を適宜取り入れる。そうすることで、生徒が自 らの学習の進め方や考察の視点を自己評価し、課題解決と追究の往還を通して、歴史を主体 的に解釈しようとする態度を育むことができるようにする。

### 3 目標

- (1) 幕末から明治維新にかけての国内外の動きや、多様な主体の関わりについて理解すると ともに、史資料や年表・図などから必要な情報を効果的に収集・整理する技能を身に付け ることができる。 【知識及び技能】
- (3) 幕末から明治維新への転換を多面的に捉え、課題を主体的に追究・解決しようとする態度を育む。 【学びに向かう力、人間性等】

# 4 指導計画(総時数8時間)

次	学習活動・内容	単元の指導上の留意点
	○ 「江戸時代を終わらせたのは何か」と	○ 江戸幕府の安定を支えた要因を振り
	いう単元を貫く学習課題に対する自分	返りつつ、幕末の出来事や人物、庶民の
	の仮説を作成し、交流する。	動きを複数提示する。そうすることで、
	・追究課題の設定	幕府の終わりに多様な要因が関わった
	・視点の確認	ことに気づかせ、課題に対する仮説をも
		たせることができるようにする。
<u>-</u> 6	○ 情報を収集し、考えを整理する。	○ 個人での追究の時間を確保する。そう
	・課題追究(課題発見・課題解決の往還)	することで、自身の問いに対して、資料
	・解釈の決定	やデータをもとに論理性・妥当性・根拠
		を意識しながら考察することができる
		ようにする。
本時	● 全体共有の場で、他者と意見交流を行	○ 必要に応じて、全体で共有する時間を
5	い、時代の特色について整理する。	設定する。そうすることで、学びを他者
6	・近世、近代の特色	と共有し、多様な立場や文脈から課題を
	・時代が転換期する際の共通点	捉え直し、他者との視座の違いに目を向
	・可能論についての検討	け、協働的に新たな見方や価値を構築す
		ることができるようにする。
<u>=</u>	○ 単元を貫く学習課題に対する自分の	○ 各自の考えを文章や図解など多様な
	考えをまとめる。	方法で表現させる。そうすることで、歴
	・時代の大観	史的事象を自分の言葉で整理し、単元を
		通して得た知識のつながりを明確にで
		きるようにする。

### 5 評価規準

5 計恤况学					
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度			
・幕末から明治維新にかけ	・「江戸時代を終わらせたの	・幕末から明治維新にかけての			
ての国内外の動きや、幕	は何か」という課題に対し	歴史的課題に関心をもち、課			
府・朝廷・諸藩・志士・	て、各主体の行動や国内外	題の解決と追究を往還しな			
庶民・外国勢力など多様	の状況の関連に着目し、事	がら自ら歴史を解釈し、より			
な主体の役割を理解し	象を相互に関連付けて多面	よい社会の実現を視野に探			
ている。	的・多角的に考察し、根拠を	究しようとしている。			
	示して表現している。				

# 6 本時案 -第二次・5時分-

- (1) 主眼 新たに見出した課題について考察することを通して、時代の変容や特色について の理解を深めることができる。
- (2) 準備 学習用端末
- (3) 学習の展開

学習活動・内容   子想される子どもの反応   指導上の留意点   分	(3) 字智の展開			
・江戸時代を終わらせた主体の検討         込まれ、政治もうまくいかなくなったからでからである。         設定することで、学びを他者と共有し、協働しながらな落が力を持って、倒幕運動によったながら、説明することができるようにする。           ・可能論についての検討で力を持って、例の場でする。         ・ 前後の時代と比較させることで、幕府の権威が下がったからのより、 できなくなったからのより、 できるようにする。         ・ 前後の時代と比較させることで、時代を意識しながら、説明することができるようにする。           2 「江戸時代が終わらず、江戸時代が終わらず、江戸幕府が存続することで、幕府の権威が下がったから、江戸時代の大観・明治初期の大観・明治初期の大観・相関関係の整理・・ 相関関係の整理・・ は、武力を中心とした政治ったのではないからであり、存務が成ったのではないからであり、存務が成ったのではないからであり、存務がは難しかったのではないからであり、存務は難しかったのではないからであり、存務は難しかったのではないからであり、存務は対して大からであり、存務は対して大からであり、存務は対して、変流の場面で関連することで、域の発言を自然に引き出せるようにする。・ 議論が停滞した場合には、江戸時代の仕組みについて根幹を考えさせる。そうすることで、明治策の大きな要因である。	学習活動・内容	予想される子どもの反応	指導上の留意点	分
<ul> <li>・江戸時代を終わらせた主体の検討・可能論についての検討・可能論についての検討・力を持って、側幕運動につながったから・カー・大力を変したできるようにする。         <ul> <li>・ 産歴や長州のような溶液できるようにする。・ 前後の時代と比較させることで、時代を意識しながら、説明することができるようにする。                 できなくなったから・エ・尊王攘夷運動によったから・エ・育解が存続することで、からの関国による経済を設めたりした内の混乱が大きいので、存をあらかじ地理し、対しれて大利の混乱が大きいので、存をあらかじ地理し、対しれて大利の混乱が大きいので、存をあらかじ地理し、対したのは、対したのは、対したのは、対したのは、対したのは、対したのは、対したのは、対したのは、対したのは、対したのは、対したのは、対したのは、対したのは、対したのは、対したのは、対したのは、対したのは、対したのは、対したの場面で関連する生で、交流の場面で関連する生で、交流の場面で関連する生で、交流の場面で関連するとで、交流の場面で関連するとで、交流の場面で関連するとで、交流の場面で関連するとで、交流の場面で関連するとで、交流の場面で関連することで、交流の場面で関連するとで、交流の表面で関連することで、交流の表面が停滞した場合には、江戸時代の仕組みについて見事所の始まりのときには、江戸時代の仕組みについて根幹を考えさせる。そうすることで、明治前に対して歴史を変してある・本時の振り返り・学習活動の見通し、イ、江戸時代とは何かにつもから活動について見通しをもつことができるよう</li> </ul> </li> <li>3 新たに見出した課題 ア 外国との不平等条約が 本当に幕府のせいなのか、新政府のせいなのか、対法にで見近しを設定することで、次時の活動について見通しをもつことができるよう</li> </ul>	1 前時までの調査結果を	ア 幕府が財政危機に追い	・ 全体で共有する時間を	
・可能論についての検討 ・可能論についての検討 ・可能論についての検討 ・可能論についての検討 ・可能論についての検討 ・ できなくなったから ・ 無船来航で外国に対応できなようにする。 ・ 前後の時代と比較させることで、時代を意識しながら、説明することができるようにする。 ・ 事事所の権威が下がったから、説明することができるようにする。 ・ できなくなったから エ 等王攘夷運動によって、幕府の権威が下がったから、説明することができるようにする。 ・ におり返ったりした内容をあらかじめ把握しながら、説明することができるようにする。 ・ におり返ったりした内容をあらかじめ把握し、容をあらかじめ把握し、容をあらかじめ把握し、容をあらかじめ把握し、容をあらかじめ把握し、容をあらかじめ把握し、容をあらかじめ把握し、容をあらかじめ地理機し、容をあらかじめが把握し、容をあらかじめが理し、容をあらかじめ把握し、容をあらかじめが理し、容をあらかじめ把握し、容をあらかじめれて対して、おく。そうすることで、交流の場面で関連する生徒の発言を自然に引き出せるようにする。 ・ 議論が停滞した場合には、江戸時代の仕組みについて根幹を考え、せる。そうすることで、明治前半との比較を通して基立に、これ、正戸時代の仕組みについて根幹を考えても、ことで、政策決するための方法を表している。 3 新たに見出した課題である 3 新たに見出した課題で、本当に幕府のせいなのか、新政府のせいなのか、新政府のせいなのか、第を設定することで、次時の活動について見通し、全もつことができるよう	共有する	込まれ、政治もうまくい	設定することで、学びを	
<ul> <li>・可能論についての検討 が力を持って、倒幕運動につながったから ウ 黒船来航で外国に対応できなくなったから 本 等王攘夷運動によって、幕府の権威が下がったから できなくなったから 本 等 所の権威が下がったから できるようにする。</li></ul>	・江戸時代を終わらせた主	かなくなったから	他者と共有し、協働しな	
につながったから ウ 黒船来航で外国に対応 できなくなったから エ 尊王攘夷運動によっ て、幕府の権威が下がっ たから エ 声解所が存続すること は可能だったのか」とい う視点で検討する ・ 江戸時代の大観 ・ 明治初期の大観 ・ 相関関係の整理 ・ 相関関係の整理 ・ 内 が たのであり、存続は難しかった からであり、存続は難しかった からであり、存続は難しかったのではないか ウ 江戸幕府の始まりで は、武力を凍結して大名 をコントロールできたから安定した。終わりのと きは逆に、その武力を抑えされなくなったことが 勝婆の大きな要因である の 新下に見出した課題 や、解決するための方法を共有する ・ 本時の振り返り ・ 学習活動の見通し ・ イ 江戸時代とは何かにつ ・ ながら、説明することが、 できるようにする。 ・ 生徒が前時までに調べたり振り返ったりした内 容をあらかじめ把握し、 生徒の考えを深めたり指 さぶったりすることで、交流の場面で関連する生徒 の発言を自然に引き出せるようにする。 ・ 議論が停滞した場合に は、江戸時代の仕組みに ついて根幹を考えさせる。そうすることで、明治前半との比較を通して歴史の転換を理解できるようにする。 ・ 本時の課題や課題の解決方法について振り返る 場を設定することで、次時の活動について見通し ・ マ習活動の見通し	体の検討	イ 薩摩や長州のような藩	がら新たな見方や価値を	
ウ 黒船来航で外国に対応できなくなったから工事解の権威が下がったから工事解の権威が下がったから         ・ 前後の時代と比較させることができなくなったから工事解の権威が下がったから         15           2 「江戸時代が終わらず、江戸幕府が存続することで、幕府の権威が下がったから         ア 黒船だけではなくて、その後の開国による経済の混乱が大きいので、存存にがありまするとで、変をあらかじめ把握し、会にする。の混乱が大きいので、存存をあらかじめ把握し、生徒の考えを深めたり揺るが、できるようにも内容をあらかじめ把握し、生徒の考えを深めたり揺るが、できるようにも内容をあらかじめ把握し、生徒の考えを深めたり揺るが、の場面で関連する生徒の発言を自然に引き出せるようにする。があるとで、交流の場面で関連する生徒の発言を自然に引き出せるようにする。・議論が停滞した場合には、江戸時代の仕組みについて根幹を考えことで、明治前半との比較を通して歴史の転換を理解できるようにする。           ・ 相関関係の整理         ・ 大名をコントロールできたから安定した。終わりのときは逆に、その武力を抑えきれなくなったことが構造を通りにする。・ですることで、明治前半との比較を通して歴史の転換を理解できるようにする。         ・ 本時の比較を通して歴史の転換を理解できるようにする。・ 本時の課題や課題の解決方法について振り返るを共有する・本時の振り返り・本当に幕府のせいなのかますに幕府のせいなのかますに幕府のせいなのかますに幕府のせいなのかますに幕府のせいなのかますに幕府のせいなのかますに幕府のせいなのかますに幕府のせいなのかますに幕府のせいなのかますに幕府のせいなのかますに幕府のせいなのかますに幕府のせいなのかますに幕府のせいなのかますに幕府のせいなのかますに幕府のせいなのかますに幕府のせいなのかますに幕府のせいなのがますに幕府のせいなのかますに幕府のせいなのかますに幕府のせいなのかますに幕府のせいなのかますに幕府のせいなのかますに幕府のせいなのかますに著作が表することで、次時の活動について見通しをもつことができるよう	・可能論についての検討	が力を持って、倒幕運動	構築することができるよ	
できなくなったから エ 第王攘夷運動によっ て、幕府の権威が下がっ たから  2 「江戸時代が終わらず、 江戸幕府が存続すること は可能だったのか」とい う視点で検討する ・江戸時代の大観 ・明治初期の大観 ・相関関係の整理 ・相関関係の整理 ・相関関係の整理 ・対したのではないか ウ 江戸幕府の始まりでは、武力を凍結して大名をコントロールできたから安定した。終わりのときは逆に、その武力を抑えきれなくなったことが、崩壊の大きな要因である ・ 新政府のせいなのか、外方法について援り返る場を決する。 ・ 新政府のせいなのか、外方法について援り返る場を決する。 ・ 本時の援り返り ・ 本時の援り返り ・ 大名 を からであり、存続は難しかったのではないか ウ 江戸幕府の始まりでは、武力を凍結して大名をコントロールできたから安定した。終わりのときは逆に、その武力を抑えきれなくなったことが、崩壊の大きな要因である ・ 本時の課題や課題の解決方法について援り返る場を設定することで、次時の活動について見通しをもつことができるよう		につながったから	うにする。	
		ウ 黒船来航で外国に対応	・ 前後の時代と比較させ	
		できなくなったから	ることで、時代を意識し	
たから		エ 尊王攘夷運動によっ	ながら、説明することが	
2 「江戸時代が終わらず、 江戸幕府が存続すること は可能だったのか」という視点で検討する         ア 黒船だけではなくて、 その後の開国による経済 の混乱が大きいので、存 ををあらかじめ把握し、 生徒の考えを深めたり揺 ・ 機能しかった         たり振り返ったりした内容をあらかじめ把握し、 ををあらかじめ把握し、 生徒の考えを深めたり揺 ・ 送ぶったりする準備しておく。そうすることで、交流の場面で関連する生徒の発言を自然に引き出せるようにする。           ・相関関係の整理         の期待が人々に広がったからであり、存続は難しかったのではないかウンスのではないかウンスのではないから安定した。終わりのときは逆に、その武力を抑えきれなくなったことがあ安定した。終わりのときは逆に、その武力を抑えきれなくなったことが崩壊の大きな要因である。         ・ 議論が停滞した場合には、江戸時代の仕組みについて根幹を考えさせる。そうすることで、明治前半との比較を通して歴史の転換を理解できるようにする。           3 新たに見出した課題や、解決するための方法を共有する・本時の振り返り・学習活動の見通し         ア 外国との不平等条約が本当に幕府のせいなのか、新政府のせいなのか、新政府のせいなのか、新政府のせいなのかといよいで活動について見通しをもつことができるよう           ・学習活動の見通し         イ 江戸時代とは何かにつ         をもつことができるよう		て、幕府の権威が下がっ	できるようにする。	
<ul> <li>江戸幕府が存続することは可能だったのか」という視点で検討する・江戸時代の大観・明治初期の大観・相関関係の整理・相関関係の整理・相関関係の整理・対象を変した。終わりのとは、武戸時代の仕組みにかったのではないかかが、方を変した。終わりのときは逆に、その武力を抑えきれなくなったことが崩壊の大きな要因である・本時の振り返り・学習活動の見通し・ないて見通し、おり返うにする。・本時の振り返り・学習活動の見通し・ないて見通しをもつことができるよう</li> <li>たり振り返ったりした内容をあらかじめ把握し、</li></ul>		たから		15
は可能だったのか」とい う視点で検討する ・江戸時代の大観 ・明治初期の大観 ・相関関係の整理 ・相関関係の整理 ・力に、	2 「江戸時代が終わらず、	ア 黒船だけではなくて、	・ 生徒が前時までに調べ	
・江戸時代の大観         イ 倒幕が成功したのは、	江戸幕府が存続すること	その後の開国による経済	たり振り返ったりした内	
<ul> <li>・江戸時代の大観</li> <li>・明治初期の大観</li> <li>・相関関係の整理</li> <li>イ 倒幕が成功したのは、 天皇を中心とした政治へ の期待が人々に広がった からであり、存続は難し かったのではないか ウ 江戸幕府の始まりで は、武力を凍結して大名 をコントロールできたか ら安定した。終わりのと きは逆に、その武力を抑えきれなくなったことが 崩壊の大きな要因である カにする。</li> <li>3 新たに見出した課題 や、解決するための方法 を共有する ・ 本時の振り返り ・ 本時の振り返り ・ 学習活動の見通し</li> <li>イ 江戸時代とは何かにつ さぶったりする準備して おく。そうすることで、交流の場面で関連する生徒 の発言を自然に引き出せるようにする。 ・ 議論が停滞した場合に は、江戸時代の仕組みに ついて根幹を考えさせる。そうすることで、明治 前半との比較を通して歴 史の転換を理解できるよ 方にする。 40</li> <li>本時の課題や課題の解決方法について振り返る 場を設定することで、次 時の活動について見通し をもつことができるよう</li> </ul>	は可能だったのか」とい	の混乱が大きいので、存	容をあらかじめ把握し、	
<ul> <li>・明治初期の大観</li> <li>・相関関係の整理</li> <li>大皇を中心とした政治への期待が人々に広がったからであり、存続は難しかったのではないかりではないかりではないからではないからではないからではないから変定した。終わりのときは逆に、その武力を抑えきれなくなったことが崩壊の大きな要因である。</li> <li>3 新たに見出した課題や、解決するための方法を共有する・本時の振り返り・学習活動の見通し</li> <li>大皇を中心とした政治へが流の場面で関連する生徒の発言を自然に引き出せるようにする。・議論が停滞した場合には、江戸時代の仕組みについて根幹を考えさせる。そうすることで、明治前半との比較を通して歴史の転換を理解できるよう。</li> <li>本当に幕府のせいなのかまか、新政府のせいなのか場を設定することで、次時の活動について見通しをもつことができるよう</li> </ul>	う視点で検討する	続は難しかった	生徒の考えを深めたり揺	
<ul> <li>・相関関係の整理</li> <li>の期待が人々に広がったからであり、存続は難しかったのではないかウエ戸幕府の始まりでは、武力を凍結して大名をコントロールできたから安定した。終わりのときは逆に、その武力を抑えきれなくなったことが崩壊の大きな要因であるが、済みに見出した課題であるが、新政府のせいなのか、新政府のせいなのかとを共有する・本時の振り返り・本時の振り返り・本時の振り返り・本時の振り返り・イエ戸時代とは何かにつなごまするとができるよう</li> <li>・相関関係の整理がある生徒の発言を自然に引き出せるようにする。・ 議論が停滞した場合には、江戸時代の仕組みについて根幹を考えさせる。そうすることで、明治前半との比較を通して歴史の転換を理解できるようにする。</li> <li>・本時の課題や課題の解決方法について振り返る場を設定することで、次時の活動について見通しをもつことができるよう</li> </ul>	・江戸時代の大観	イ 倒幕が成功したのは、	さぶったりする準備して	
からであり、存続は難し かったのではないか ウ 江戸幕府の始まりで は、武力を凍結して大名 をコントロールできたか ら安定した。終わりのと きは逆に、その武力を抑 えきれなくなったことが 崩壊の大きな要因である カに見出した課題 ア 外国との不平等条約が 本当に幕府のせいなの か、新政府のせいなのか 比べたい よで活動の見通し イ 江戸時代とは何かにつ をもつことができるよう	・明治初期の大観	天皇を中心とした政治へ	おく。そうすることで、交	
かったのではないか ウ 江戸幕府の始まりで は、武力を凍結して大名 をコントロールできたか ら安定した。終わりのと きは逆に、その武力を抑 えきれなくなったことが 崩壊の大きな要因である 3 新たに見出した課題 ア 外国との不平等条約が 本当に幕府のせいなの か、解決するための方法 を共有する ・本時の振り返り ・学習活動の見通し かったのではないか ウ 江戸幕府の始まりで は、江戸時代の仕組みに ついて根幹を考えさせ る。そうすることで、明治 前半との比較を通して歴 史の転換を理解できるよ うにする。 ・ 本時の課題や課題の解 決方法について振り返る 場を設定することで、次 時の活動について見通し をもつことができるよう	・相関関係の整理	の期待が人々に広がった	流の場面で関連する生徒	
ウ 江戸幕府の始まりでは、武力を凍結して大名をコントロールできたから安定した。終わりのときは逆に、その武力を抑えきれなくなったことが崩壊の大きな要因である       ・ 議論が停滞した場合には、江戸時代の仕組みについて根幹を考えさせる。そうすることで、明治前半との比較を通して歴史の転換を理解できるよりにする。         3 新たに見出した課題や、解決するための方法を共有する・本時の振り返り・学習活動の見通し       ア 外国との不平等条約が大きな要因であるのか、新政府のせいなのか比べたいおか、新政府のせいなのかなのかないなのかなが、新政府のせいなのかないなのかないなのかないなのかないなのかないなのかないなのかないなの		からであり、存続は難し	の発言を自然に引き出せ	
は、武力を凍結して大名 は、江戸時代の仕組みに をコントロールできたか ら安定した。終わりのと きは逆に、その武力を抑 前半との比較を通して歴 史の転換を理解できるよ 方にする。 40  3 新たに見出した課題 ア 外国との不平等条約が 本時の課題や課題の解 や、解決するための方法 を共有する か、新政府のせいなのか よを設定することで、次 比べたい けの活動について見通し そもつことができるよう		かったのではないか	るようにする。	
をコントロールできたか ら安定した。終わりのと らって根幹を考えさせ る。そうすることで、明治 前半との比較を通して歴 ときれなくなったことが 東の転換を理解できるよ 前壊の大きな要因である うにする。 40  3 新たに見出した課題 ア 外国との不平等条約が 本時の課題や課題の解 本当に幕府のせいなの 次方法について振り返る か、新政府のせいなのか 場を設定することで、次 中の活動について見通し ・学習活動の見通し イ 江戸時代とは何かにつ をもつことができるよう		ウ 江戸幕府の始まりで	・ 議論が停滞した場合に	
お安定した。終わりのと   さ。そうすることで、明治   前半との比較を通して歴   文きれなくなったことが   中の転換を理解できるよ   方にする。   40   3   新たに見出した課題   ア 外国との不平等条約が   本時の課題や課題の解   本当に幕府のせいなの   次方法について振り返る   水、解決するための方法   本当に幕府のせいなの   場を設定することで、次   たべたい   中の活動について見通し   イ 江戸時代とは何かにつ   をもつことができるよう		は、武力を凍結して大名	は、江戸時代の仕組みに	
きは逆に、その武力を抑 前半との比較を通して歴 えきれなくなったことが 史の転換を理解できるよ 前壊の大きな要因である うにする。 40  3 新たに見出した課題 ア 外国との不平等条約が ・ 本時の課題や課題の解 や、解決するための方法 本当に幕府のせいなの		をコントロールできたか	ついて根幹を考えさせ	
えきれなくなったことが   史の転換を理解できるよ   崩壊の大きな要因である   うにする。   40   3   新たに見出した課題   ア   外国との不平等条約が   本時の課題や課題の解   本当に幕府のせいなの   決方法について振り返る   なま有する   か、新政府のせいなのか   場を設定することで、次   比べたい   時の活動について見通し   イ   江戸時代とは何かにつ   をもつことができるよう		ら安定した。終わりのと	る。そうすることで、明治	
崩壊の大きな要因であるうにする。403 新たに見出した課題 や、解決するための方法 を共有する ・本時の振り返り ・学習活動の見通しア 外国との不平等条約が 本当に幕府のせいなの か、新政府のせいなのか 比べたい イ 江戸時代とは何かにつ・ 本時の課題や課題の解 決方法について振り返る 場を設定することで、次 時の活動について見通し をもつことができるよう		きは逆に、その武力を抑	前半との比較を通して歴	
3 新たに見出した課題 ア 外国との不平等条約が や、解決するための方法 を共有する か、新政府のせいなのか ・本時の振り返り ・学習活動の見通し イ 江戸時代とは何かにつ をもつことができるよう       ・本時の課題や課題の解 決方法について振り返る 場を設定することで、次 時の活動について見通し をもつことができるよう		えきれなくなったことが	史の転換を理解できるよ	
や、解決するための方法 を共有する本当に幕府のせいなの か、新政府のせいなのか 比べたい決方法について振り返る 場を設定することで、次 時の活動について見通し をもつことができるよう・学習活動の見通しイ 江戸時代とは何かにつをもつことができるよう		崩壊の大きな要因である	うにする。	40
を共有する       か、新政府のせいなのか       場を設定することで、次         ・本時の振り返り       比べたい       時の活動について見通し         ・学習活動の見通し       イ 江戸時代とは何かにつ       をもつことができるよう	3 新たに見出した課題	ア 外国との不平等条約が	・本時の課題や課題の解	
・本時の振り返り       比べたい       時の活動について見通し         ・学習活動の見通し       イ 江戸時代とは何かにつ       をもつことができるよう	や、解決するための方法	本当に幕府のせいなの	決方法について振り返る	
・学習活動の見通し イ 江戸時代とは何かにつ をもつことができるよう	を共有する	か、新政府のせいなのか	場を設定することで、次	
	・本時の振り返り	比べたい	時の活動について見通し	
・学習活動の選択いての検討を行いたいにする。50	・学習活動の見通し	イ 江戸時代とは何かにつ	をもつことができるよう	
	・学習活動の選択	いての検討を行いたい	にする。	50

# (4) 評価規準と方法

江戸時代末期から明治時代初期にかけての時代の変容や特色についての理解を深めることができたか、発言や振り返りシートへの記述からみとる。